

寒川文書館だより

Vol. 1



寒川文書館 平成18年11月3日オープン！

■創刊号目次

創刊にあたって	2
盛況だった開館記念行事	3
開館記念展示「ようこそ文書館へ」	4
「みんなが足を運びたくなる文書館」をめざして	5
全国の公文書館一覧	6
文書館利用Q & A	7
今後の事業予定・利用案内	8

創刊号
2007.3.31
寒川文書館

創刊にあたって

このたび「寒川文書館だより」を創刊することになりました。寒川文書館の日ごろの活動や所蔵資料などをいち早くご紹介することで、館運営にご理解をいただること、皆さんに親しみを持っていただくことを目的に発行するもので、春と秋の年2回お届けする予定です。

この寒川文書館は、古文書、歴史的公文書、写真、行政刊行物などといった寒川地域の記録資料を収集、保存し、皆さんに利用していただくための施設です。平成18年11月3日、寒川総合図書館4階に開館しました。

おかげさまでオープン以来、多くの方にご来館いただいています。調べ学習に来る小学生、先祖の足跡をたどる人、地域の歴史を勉強する人、仕事で地図を閲覧する人など、所蔵資料の利用の仕方は実にさまざまですが、いずれも懇切丁寧なレファレンスで、利用者に満足して帰っていただけるよう心がけ

ています。また、企画展示を見に来たり、講座などに参加したりという方もたくさんいらっしゃいまして、ますますのスタートを切ったのではないか

と思っているところでございます。

今後も図書館との複合施設というメリットを最大限に活かし、図書館と一体になったレファレンスや情報提供に心がけてまいります。また、今後の運営におきましては、資料の調査や整理をボランティアの方々にお手伝いいただくなど、町民との協働によって進めていくことを検討しているところでございます。

これからも文書館の活動にぜひご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、創刊のご挨拶とさせていただきます。

寒川文書館長 小島博司

表紙の一枚

寒川総合図書館・寒川文書館ついに開館！

テープカット（左から、飯田県議会議員、山田町長、早乙女町議会議長、藤井町教育長）
(平成18年11月3日)

総合図書館・文書館の開館を祝福するかのようなすばらしい秋晴れのもと、開館を待ちかねる約80人の列に見守られながらのセレモニーでした。



盛況だった開館記念行事

■開館記念式典 11月1日(水)



一般利用の開始に先立ち、総合図書館3階の学習室において、総合図書館と文書館の開館記念式典が行われました。

約200人の関係者が一堂に会し、山田町長、早乙女町議会議長、飯田県議会議員、小林県企業庁長のあいさつがありました。

終了後は一般町民も参加できる内覧会が行われ、多くの方が11月3日の利用開始に期待しながら、見学していきました。

■開館日(一般利用開始) 11月3日(金)



総合図書館正面入り口での山田町長によるテープカットののち、いよいよ総合図書館・文書館が開館しました。

好天に恵まれたこともあり、館内は大盛況。この日だけで図書館には3,100人あまり、文書館には680人もの人が来館しました。

おりしもこの日は文化の日。町の新しい文化拠点のスタートです。

(写真はテープカット時の町長あいさつ)

■開館記念展示説明会 11月4・5・11・12日



開館記念行事の一環として、開館記念展示「ようこそ文書館へ」の説明会を、4日間で合計6回実施しました。特に4日と5日は、図書館・文書館のそれぞれの開館記念講演の後に実施したこと也有って、あわせて70名以上のご参加があり、担当者の説明に、みなさん熱心に聞き入っていました。

■文書館開館記念講演会 11月5日(日)



藤沢の郷土史研究家、平野雅道さんに「地域の歴史を学ぶ喜び—市民がどう歴史資料とむきあうかー」と題してご講演いただきました。藤沢に残る古文書を読むことで湧き上がる、身近で素朴な疑問を解決していくこうとする平野さんの日ごろの取り組みを紹介していただき、地域を知りそれを地域に役立てることの大切さを教えていただきました。詳しい内容は『寒川町史研究』20号(2007年3月発行)に掲載する予定です。

開館記念展示「ようこそ 文書館へ」

企画展示は、これまで寒川町史編さん事業の一環として、一之宮小学校内の文化財学習センターで行ってきましたが、今後は会場を寒川文書館内の企画展示コーナーに移し、内容もこれまで以上に充実させていく予定です。

さて、第1回展示のテーマは「ようこそ文書館へ」です。文書館とはどういう場所なのか？寒川にはどのような記録資料があるのか？それらの活用術と共に紹介しています。



展示風景

1 文書館ができるまで

町史編さん事業から文書館設置までの経緯、県内の公文書館4館の概要、全国の公文書館一覧など

2 文書館の役割

文書館の役割と業務のながれ、町民との「協働」による運営などについて

3 寒川の記録資料

寒川に残るさまざまな「記録資料」をパネルにしてご紹介



古文書



写真



絵図



歴史的公文書

4 寒川を知る10冊

寒川を知るための基本的な図書の紹介 展示終了後も開架書架コーナーでご覧いただけます

- 『宮山中里遺跡・宮山台畠遺跡』
- 『増補改訂版 梶原景時』
- 『郷土の石碑』
- 『郷紳遺芳』
- 『近世の豪農と村落共同体』
- 『相模の神輿』
- 『寒川温室五十年の歩み』
- 『相模線沿線散歩』
- 『神奈川の促成いちごの歩み』
- 『相模川事典』

5 文書館活用術

歴史の勉強だけじゃもったいない 文書館資料のさまざまな活用方法をご提案！

展示ケース

「江戸から明治へ」、「地神講と松野文真」と題し、古文書と掛け軸の実物を展示



地神講の掛け軸

【展示会場】寒川総合図書館4階 寒川文書館内 企画展示コーナー

【展示期間】平成18年11月3日(金)～平成19年3月14日(水)

「みんなが足を運びたくなる文書館」 をめざして

寒川文書館の基本理念のひとつに「みんなが足を運びたくなる文書館」というのがあります。これは、資料の大切さや歴史のおもしろさを一人でも多くの町民に知ってもらうため、展示、講座、講演などの普及活動に力を入れたり、ボランティアの皆さんに文書館の運営に積極的にかかわってもらったりなど、みんなが集まる空間をつくっていこうというものです。地域住民との接点を積極的に持つことこそ、市町村の公文書館に課せられた役割と考えるからです。

すでに開設準備の段階、あるいは開館直後から、少しずつ実践を始めていますので、ここで事例をご紹介しましょう。

配架ボランティア

平成18年9月4日(月)から8日(金)まで、文書館の開架書架へ図書および行政刊行物を配架する作業をボランティアの皆さんにお願いしました。

広報やインターネットを見て応募してくださった方は、実員で30名。延べで78名の皆さんが開館前の文書館に集まってくれました。

作業は、段ボールに詰まった約18,000冊の本を、仕分けし、請求記号順に書架に並べるというもので、皆さんが熱心に取り組んでくださいました結果、無事に作業を終えることができました。

また、開館直前の10月21日(火)と23日(木)にも、急速10名の方々にお集まりいただき、文書資料室内でマイクロフィルムから紙焼き製本した資料の配架作業をお願いしました。



中学校の職業体験学習

平成18年11月14日(火)・15日(水)の両日、寒川東中学校の生徒1名が、文書館の仕事を体験しました。

これは同校が実施している職業体験学習の一環です。2年生約160名がいろいろな職場に出向いて、仕事を通じて社会体験をするもので、総合図書館と文書館も1名ずつ受け入れました。

当日はスタッフの指導のもと、古文書保存箱の組み立て、書架の整理などの作業に一所懸命にとりくんでくれました。

文書館では、これからもさまざまなかたちで学校との連携を深めることを検討しています。これにより、生徒の利用にもつなげることができればと考えています。



全国の公文書館一覧

一般に文書館とは

「行政組織、企業、団体など、さまざまな組織体あるいは個人が、その活動のなかで作成したり受け取つたりしたナマの文書記録を、永久保存して一般の利用に供する施設」(安藤正人『草の根文書館の思想』)をいい、諸外国では図書館や博物館と並ぶ、ポピュラーな施設とされています。

わが国でも国や各地方公共団体が設置を進めており、そこに新たに寒川文書館が加わったわけです。

現在、全国に設置されている公文書館の一覧です。(国立公文書館のリンク集より)

【国の機関】

●国立公文書館

【都道府県の機関】

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| ①北海道立文書館 | ⑪神奈川県立公文書館 | ⑯奈良県立図書情報館 |
| ②宮城県公文書館 | ⑫新潟県立文書館 | ⑰和歌山県立文書館 |
| ③秋田県公文書館 | ⑬富山県公文書館 | ⑯鳥取県立公文書館 |
| ④福島県歴史資料館 | ⑭福井県文書館 | ⑰岡山県立記録資料館 |
| ⑤茨城県立歴史館 | ⑮長野県立歴史館 | ⑮広島県立文書館 |
| ⑥栃木県立文書館 | ⑯岐阜県歴史資料館 | ⑯山口県文書館 |
| ⑦群馬県立文書館 | ⑰愛知県公文書館 | ⑰徳島県立文書館 |
| ⑧埼玉県立文書館 | ⑱京都府立総合資料館 | ⑰香川県立文書館 |
| ⑨千葉県文書館 | ⑲大阪府公文書館 | ⑰大分県公文書館 |
| ⑩東京都公文書館 | ⑳兵庫県公館県政資料館 | ⑰沖縄県公文書館 |



【市区町村の機関】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ①久喜市公文書館 (埼玉県久喜市) | ⑪神戸市文書館 (兵庫県神戸市) |
| ②八潮市立資料館 (埼玉県八潮市) | ⑫尼崎市立地域研究史料館 (兵庫県尼崎市) |
| ③板橋区公文書館 (東京都板橋区) | ⑬広島市公文書館 (広島県広島市) |
| ④川崎市公文書館 (神奈川県川崎市) | ⑭下関文書館 (山口県下関市) |
| ⑤藤沢市文書館 (神奈川県藤沢市) | ⑮西予市城川文書館 (愛媛県西予市) |
| ⑥寒川文書館 (神奈川県高座郡寒川町) | ⑯北九州市立文書館 (福岡県北九州市) |
| ⑦松本市文書館 (長野県松本市) | ⑰福岡市総合図書館 (福岡県福岡市) |
| ⑧名古屋市市政資料館 (愛知県名古屋市) | ⑱天草市天草アーカイブズ (熊本県天草市) |
| ⑨守山市公文書館 (滋賀県守山市) | ⑲北谷町公文書館 (沖縄県北谷町) |
| ⑩大阪市公文書館 (大阪府大阪市) | |

次回からは毎号1館ずつをとりあげ、
ご紹介していきたいと思います。

文書館利用Q&A

文書館の開館から5か月近くがたちました。この間に利用のしかたなどについて寄せられた質問をまとめました。ご利用の際の参考にしてみてください。

Q1 だれでも利用できるのですか？

A どなたでも利用していただくことができます。お住まいや年齢などの制限はありません。

Q2 どのような資料があるのですか？

A 町史編さんの過程で調査・整理した古文書、保存年限を満了した歴史的公文書、個人や役場の各課等が撮影した写真、そのほか寒川町や神奈川県などが作成した行政刊行物や各地の自治体史、地図、新聞、タウン紙など、寒川に関するさまざまな資料を収集・保存しています。

Q3 資料の閲覧はどのようにするのですか？

A 開架書架および閲覧コーナーにある資料は手にとって自由にご覧いただけます。古文書、歴史的公文書など、文書資料室内にある資料は、資料閲覧申込書に記入してカウンターにお出しください。スタッフが出納いたします。また、どのような資料があるかは閲覧コーナーのパソコンで検索ができます。

Q4 閲覧コーナーにはどのような資料があるのですか？

A 辞典類および目録・年鑑といった参考図書のほか、国土地理院発行の地形図や、現在の神奈川新聞の前身である横浜貿易新聞の複製原本などが並んでおり、自由に手に取ってご覧いただけます。また、寒川町と周辺自治体の明細地図がワークスペース内にあります。

Q5 資料のコピーはできますか？

A コピーについてはカウンターにある「資料複写申請書」に必要事項をご記入いただいたのち、著作権法の範囲内でコピー機をご利用いただけます。B4・A4・B5は一枚10円、A3は一枚20円です。一部、資料の状態などによりコピーをご遠慮いただく場合もあります。

Q6 資料を借りることはできますか？

A 文書館の資料はそれ一点しかない原資料が多いので原則的に貸し出しはしていません。文書館が複数所蔵している一部の行政刊行物や図書（資料の背に黄色い●シールが貼ってあります）については、総合図書館利用券で貸し出しを行っています。期間は貸出日から15日間、冊数は5冊までです。

Q7 パソコンは利用できますか？

A 閲覧コーナーに文書館の資料を検索するためのものを1台、インターネットに接続して広く調べ物ができるものを2台設置しています。ゆずりあってご利用ください。
また、ご自分のパソコンを持ち込んで利用することもできます。

Q8 閲覧コーナーで自習や食事はできますか？

A 閲覧コーナーは文書館の資料を利用されるかたのためのものです。それ以外の利用はご遠慮いただいている。自習は総合図書館3階の学習室をご利用ください。
また、資料の保護などの点から文書館および総合図書館内では飲食はご遠慮いただいております。ご利用は総合図書館3階のふれあいコーナーやルーフガーデンでおねがいします。

今後の事業予定

利用案内

■次回展示のおしらせ

第2回企画展示「寒川の学校 130年のあゆみ」

明治6年(1873)に最初の学校が開校してから130年ありがとうございました。その間、さまざまな移り変わりがありました。

この展示では、寒川の学校の変遷を紹介するとともに、学校に関する記録資料にはどのようなものがあるかを知っていただこうという企画です。ぜひ足をお運びください。

会期: 平成19年3月17日(土)~8月31日(金)

■講座等のお知らせ

平成19年度は次の講座等を開催する予定です。日程や詳細が決まりましたら、「広報さむかわ」やインターネットなどでお知らせしてまいります。

- 古文書講座「江戸時代の史料を読む」
- 中世史講座「梶原景時の史料を読む－吾妻鏡の世界－」
- 町史講座(内容未定)
- 資料保存活用講座(内容未定)

編集後記

寒川文書館だより創刊号をお届けします。

今回は開館して初めての発行ということもあり、開館記念行事、利用のQ&A、全国の公文書館など幅広い内容となりましたが、いかがでしたでしょうか。

次号の発行は本年9月ごろの予定です。所蔵資料の紹介や、各事業の結果報告、連載記事などなど、さらに盛りだくさんの内容にしたいと考えています。どうぞご期待ください。

ホームページもご覧ください

ホームページでは文書館からのお知らせ、刊行物のご案内のはか、さまざまなコンテンツをご提供していく予定です。ぜひいちどアクセスしてみてください。

ホームページアドレスは下記の通りです。

<http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

■開館時間

火曜~金曜日 午前9時~午後7時
土・日・祝日 午前9時~午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日~1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分
寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分
※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 創刊号

平成19年3月31日
編集・発行／寒川文書館
〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1
TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758
ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>
電子メール bunsyokan@town.samukawa.kanagawa.jp